

## 第2906回 例会 令和5年9月19日(火)

出席委員会委員長	池田 榮三
会員総数	20名
本日の出席者(免除者)	11名(1名)
本日の出席率	64.7%

### 会長あいさつ

#### 西尾 RC 会長 浅岡 正君



本日は酒井法丈ガバナーをお迎えして卓話をさせていただきます。3クラブを代表して挨拶をさせていただきます。RI会長であるスコットランドのゴードン R. マッキナリー氏は「Create hope in the world 世界に希望を生み出そう」をテーマに、メンタルヘルスの重要性を訴えています。それに基づいて第2760地区の酒井ガバナーは「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ」を掲げています。ロータリアンが未来に向けてどのように行動するのか考える今日は良い機会です。また、ロータリーでは DEI を掲げています。多様性、公平さ、包括・一体性です。これを考えながら行動する必要があります。今日はガバナーの卓話を聞きながら、そういうことを考えていきたいと思えます。よろしくお祈り致します。

### 今週のスマイル

#### 西尾 RC スマイルボックス委員長 谷崎直樹 君

ガバナー 酒井法丈君/地区幹事 杉浦敏夫君/地区副幹事 松井博文君  
ご厚志をいただきました。

#### 西尾 RC 会長 浅岡正君

酒井ガバナー、杉浦地区幹事、松井地区副幹事ようこそ西尾へ。酒井ガバナー卓話よろしくお祈り致します。

#### 西尾 KIRARARC 会長 榎原章君

酒井ガバナー、杉浦地区幹事、松井地区副幹事ようこそ西尾へ。酒井ガバナーのお話をじっくり聞かせていただきます。又今日を楽しんで下さい。

#### 西尾一色 RC 会長 鳥居萬里君

酒井ガバナーにおかれましては、ようこそ西尾の地にお越しいただきありがとうございます。本日はご指導よろしくお祈り致します。

### 本日の卓話

## 「3RC ガバナー公式訪問」

#### RI 第2760地区 ガバナー 酒井法丈 君

本年度2023-24年度2760地区ガバナーを務めております豊田 RC 所属の酒井と言います。本日は西尾 RC、西尾一色 RC、西尾 KIRARARC の例会にお邪魔させていただいて RI 会長のテーマ及びメッセージをお届けしたいと思えます。

RI 会長はスコットランドのゴードン R. マッキナリーさんです。RI のテーマは、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」です。これに至ったのは帰属意識とインクルージョンが浸透されているという背景があ



ります。

会長は幸福とか平和とかいうよくおっしゃいます。積極的平和のための土壌づくりとして奉仕プロジェクトをしているんだということです。土壌づくり、言い換えれば基礎工事のようなものですが、どんな立派な建物でも基礎がで

きていなければ建つことはできません。我々は基礎工事をやっているのが、この奉仕プロジェクトだということです。平和というのは夢ではありません。受け身的なものではありません。おのおのが努力しオープンな会話をしなければ平和は勝ち得ません。

会員増強につながるメッセージですが、素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上なく居心地のよい、これ以上なく魅力的なクラブを築きあげましょう、と言っています。逆から読むとこういう事です。「魅力的なクラブは居心地がよい。居心地がよいから会員を維持することができ、入会候補者もロータリーに関心を持ってくれる。」となります。魅力的なクラブを作ることが大事です。そしてクラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが大事です。帰属意識というのは自分のクラブに愛着を持つこと、ロータリーを自分に居場所にできる、それができるのは私たち次第です。受け身的に構えていてはロータリーの魅力を知ることができません。

RI 会長は3つの重点事項を上げています。まず1つ目がポリオプラスプログラム、これの理由ですが天然痘に次ぐ人類の疾病を根絶するため、もしロータリーが根絶活動から手を引いたら10年後には20万人の子供がポリオに感染すると言われていました。ワクチンのみが予防の手段です。2007年にはポリオ根絶がロータリーの最優先事項になりました。1985年から始まっているので、これを続けるというのがロータリーの宣言であります。このポリオプラスのプラスの意味ですが、根絶の取り組みによって子供達の中で流行する5つの伝染病予防にもつながるという意味です。

そして2つ目がメンタルヘルスですが、心の健康というものかもしれません。私は会員同士がお互い支えあう事に注目しました。コロナで3年間、例会の開催がままならなかった中で、会員同士の絆や心の交流というのが希薄になってしまったのではないかと、今一度会員同士支えあいましょう。

3つ目が女兒のエンパワメント、女の子の教育という意味ですが、本来の力が発揮できる環境を整え、自ら行動できる社会を作りましょう。女性の労力が行き届けば世界がより成長できる、その恩恵が日本にもくると思えます。

会長方針にあるように、「世界に希望を生み出そう」という事を言っていますが、希望とは何でしょうか。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出す、そして希望は失望に終わることはないという言葉が聖書の中

にあります。人は苦難や困難に出会うと忍耐して立ち向かっていくとやがては練達の中に行きつくことができる。そして初めて希望が生まれてくる。スポーツに打ち込む子供でいうと、目標を持つからこそ苦しい練習に耐えられる。希望は努力した先にしか見えてこないということです。

今から皆さんに問いかけをします。①皆さんなぜロータリークラブに入会しましたか？②ロータリークラブの会員はどのような人たちですか？③ロータリークラブは何をしていますか？④ロータリークラブの会員であり続けるのはなぜですか？⑤クラブを代表する活動はなんですか？という問いかけをすると、人それぞれの答えがあります。ロータリー会員はどのような人たちか、自らが従事している職業が所在している地域社会の中で、役に立ちかつ為になるものとなるよう日々努力している人たち、我々はその集合体です。人間力を磨いている人の集まりです。ではロータリーは何をしているのか？人間力を磨いている人が交流することによりお互い研鑽を行う場として例会を開催します。だから例会は大事なのです。ロータリーが単に寄付をするだけの団体であれば例会を開催する必要はありません。

地域社会や世界が必要とすることに答えようとする活動をする、これがロータリーがしていることです。なぜ会員であり続けるのか？居心地良いからです。クラブの良い事を会員歴の長短に関わらず語り合い共有しましょう。

RI はビジョン声明を発表しています。2007年に我々がよく使う「中核的価値観」というものが発表されて、「ロータリーのビジョン声明」というものが2017年に発表されました。そのビジョン声明を達成するための優先事項として、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」という4つを挙げています。先ほどの問いかけは、行動計画に繋がります。RIが推奨することに難しいことは何もありません。考え方を少しだけ変えてください。より大きなインパクトをもたらすためには、やはり新しい方法が必要です。参加者の基盤を広げるために、繋がりと機会を作り出していきます。ロータリー本位な考え方ではなく、適応力を高めることによって、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEIについて、多様性という価値観はロータリーが始まってからずっと我々の中にありました。今に始まったことではありません。ロータリーはあらゆる背景をもつ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。表層的な多様性に留まらず、人びとの深層に思いをめぐらすことが重要です。

公平さは、四つのテストにあります。世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかが大切です。インクルージョンは感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれます。

親睦と奉仕ですが、親睦は自分を磨くこと、自分の心が豊かになる事が奉仕です。ロータリーの両輪のごとく言われますが、実は1つの大きな輪として捉えられます。親睦により自身の成長する機会を得て、奉仕によって心の豊かさを培えることがロータリーの魅力です。だから、

プライドが大事なのです。ロータリー会員という誇り、帰属意識が必要で、クラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がってくる訳です。

最後に4つのお願いをさせていただきます。①ロータリー財団への寄付②地区大会への参加③RFF（ロータリーフードフェスティバル）への積極的な参加④世界大会・ガバナーナイトへの参加（2024年5月25日、シンガポール）です。ご協力、たくさんのご参加をよろしくお願い致します。

以上で本日の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

### 【会長幹事懇談会】



### 【ガバナーと新会員】



### 今週の献立

### 【こばやし屋】

